

花と緑の銀行だより

193号 2014.9



撮影場所：富山城址公園東濠付近のハンギングバスケット（富山市）

目次

- ・花と緑の提言〈「市民と広げる花と緑の推進事業について」（富山支店）〉 2
- ・活動事例〈「地域の皆さんに花と緑に親しんでほしい」（黒部支店）〉 …… 3
- ・技術講座〈気軽に楽しむ花づくり3〉 …………… 4
- ・技術講座〈富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン^⑩〉 …………… 5
- ・写真コーナー〈平成26年度富山県花のまちづくりコンクール〉 …………… 6
- ・この人あり〈「花と緑の事業に携わって」（南砺支店）〉 …………… 7
- ・情報コーナー〈「おもてなしフラワー事業」〉 …………… 7



市民と広げる花と緑の推進事業について

花と緑の銀行 富山支店長

富山市長 **森 雅志**

街を花や緑で飾ることは、単に街がきれいに見えるということにとどまらず、富山を訪れた人に好印象を与え、リピーターを増やすなどの経済的効果や市民の心身を健康にする福祉的効果のほか、花によって豊かな人間性が育まれるという効果も期待できます。

こうしたことから、富山市では、ポートラムやセントラム等の公共交通機関の整備による都市機能の充実にあわせ、バナーフラッグやフラワーハンギングバスケットの設置による都市景観の向上を図ることで、都市としての魅力向上とその発信に努めてきました。



なかでも、平成19年度から行っておりますフラワーハンギングバスケットは、まちなかを季節ごとの花で彩ることで、潤いのある景観と賑わいを創出し、富山のまちなかの魅力の一つとして定着してきており、県内外から訪れる方々からも高い評価をいただいております。

また、新たな取り組みとして平成25年度から、市民との協働による「市民と広げるフラワーハンギングバスケット事業」を始めました。

本事業は、市民から募ったサポーターの皆さんに、まちなかにある全天候型の広場「グランドプラザ」でのバスケットの植え込み作業や、城址公園の



お濠付近への設置作業、また、その後の花がら摘みや水やり等の維持管理作業に協力していただくものです。

市では、まちなかの飾花を市民の皆さんに実際に体験していただくことで、花や緑についての意識の高揚と知識の普及、来街者に対する「おもてなし」の機運が高まることを期待しており、今後も、様々な取り組みで市民とともに、花と緑の推進活動を行っていきたく考えています。

さらには、市では、平成25年度から「コミュニティガーデン事業」も実施しております。

コミュニティガーデンは、まちなかの街区公園において、地域の皆さんが共同で野菜を育て収穫し、おいしく味わうことで、地域の絆づくりや高齢者の外出機会の確保につなげようとするものです。

農業の体験や花作りの経験のある高齢者の方などが先生となり、若い世代や子どもたちと一緒に花や野菜を栽培し、収穫した野菜は地域の行事等で利用することで、高齢者の外出機会の増大や地域の世代間交流とコミュニティの活性化が進み、その活動の場となる公園が、これまで以上に、愛着を持っていただけるようになるものと考えております。



本市では、市民の方々の緑化意識が高く、これまでも花のある美しい環境を作るために活発に活動されており、大変喜ばしいことに、平成25年度の富山県花のまちづくりコンクールでは、全4部門で富山市から最優秀賞の花壇が選ばれております。

今後、ますます、富山市全体が「花と緑にあふれた潤いあるまち」になるように、市民の皆さんとともに、花と緑の推進活動を積極的に進めてまいりたいと考えております。



地域の皆さんに花と緑に親しんでほしい

花と緑の銀行 黒部支店

東布施地方銀行 頭取 **山越 太磨夫**

私と2名のグリーンキーパー、花と緑の銀行黒部支店、地区公民館の関係者計7名で、地域の皆さんに花と緑に親しみ、花づくりの楽しさを伝えたいとの思いから、今回「寄せ植え体験教室」を準備計画しました。

この教室は、花と緑の銀行の「花のまちづくり新拠点創出支援事業」の補助を活用して、実施することとしました。

6月27日(金)10時から旧東布施小学校体育館で講師の方を招いて実施しましたところ、花と緑への関心が非常に高く、参加者が予定人員(20名)を大幅に上回り、33名となり関係者一同嬉しく思いました。反面お断りした方々には大変申し訳なく思っております。

当日は寄せ植え体験教室の前に、黒部市の緑化推進の取り組みと東布施地区の取り組みをプロジェクターを使って参加者の皆さんに説明し理解していただきました。

次に講師の方から使用する花苗、シラサギカヤツリ、ブルーサルビア、ギボウシ、

ペンタス、メランポジウム、ハツユキカズラの6種類の特徴と土づくりの説明を受けた後、質問に入りました。

花がら摘み、切り戻し、挿し芽(時期)、紫陽花の花色変りは(PH)等々、次々と質問がありましたが、時間の関係もあり実技に入りました。まずポットから花苗を抜き取り、見栄えが良くなる様に草丈、花色等のバランスを考え、思い思いにプランターに配置しながら、花苗を丁寧に植え込みました。互いに出来映えを見せ合って会場は喜びの笑顔と笑い声で一杯になりました。

限られた時間内ではありましたが、気軽にガーデニングの基礎をマスターしていただき、また新しい友達や仲間づくりのきっかけになったのではと思っています。

この教室が、さらに地域に花と緑の輪が広がっていくこと、また、地域の皆さんが共に花づくりの面白さ楽しさを知り、花と緑を愛で育てていくことの一助となればと願っています。



魅力的な花壇づくりのポイント

花と緑の銀行 普及研修部

毎年、県の花のまちづくりコンクールにはたくさんの方のすばらしい花壇が応募されます。中でも、一目見ただけであっと驚かされる、魅力的な花壇に出会った時はいつまでも記憶に残って離れませんが、そんな、人の心をくぎづけにする花壇の数々を紹介いたします。これからの花壇づくりに取り入れてみてはいかがでしょうか。

1. デザインの大切さ！

黒部市立若栗小学校の花壇デザインにはいつも驚かされます。校舎の窓から見下ろすように工夫された花壇には子供達の夢がいっぱい詰まっています。中央の花びら模様の細やかさと新幹線の先頭部の躍動感、さらに、黒部の海と山々のイメージは、平成25年度のテーマ「輝け！新幹線の里黒部」を見事に表現しています。

また、デザインをどのような花で表すかにも、様々な工夫が見られます。花の中心部には背の高いモミジアオイとカンナを植えて立体感を出すとともに、赤いサルビアのはなびらを白いベゴニアで縁取りして、鮮やかさを際立たせています。新幹線の流線型はトレニアやサルビア・ファリナセアを曲線的に植えて、スピード感を強調したり、海のおよかさはトレニアやシロタエギクで、山の重厚さはコキアやアサガオを配置して、変化を持たせています。

さらに、各ブロックの間に通路を設けることで、花壇全体にメリハリが出ています。この通路は、花壇管理の時にとても便利な上に、排水を助けるメリットもあります。

ただし、デザインの細部を強調するあまり、畝幅を極端に狭くしてしまうと、土の量が不足して、生育が劣ったり、雨で崩れたりするので、注意が必要です。

「輝け！新幹線の里 黒部」



図1：黒部市立若栗小学校花壇デザイン画と花壇（平成25年度）

2. 立体感の妙技

福光の水田地帯に突然現れる花の道、南砺市開発花友の会の立体表現は驚きです。路肩の狭い空間を最大限に利用して、鮮やかな夢のフラワーロードが作られています。平成25年の北側は2m程度に見事に咲揃ったヒマワリが主役。包み込むような迫力で通行人を魅了します。また、乱れやすいヒマワリの足元は高性のアゲラタムとジニアで引き締められていて、気品の高さも感じられます。



北側 図2：開発花友の会（南砺市 平成25年度） 南側

南側は赤と黄のハゲイトウが主役で北側とは全く違った印象を与えます。サルビアの赤も強烈ですが背の高いハツユキソウが爽やかにまとめ上げています。こちらもベゴニアで足元が引き締められ、凛々しく感じられます。近くを通ったら是非寄ってみたい、花の道です。

3. 遊び心の花づくり

花づくりは自分の思うようにするのが一番。花を育てる人も見る人も、何より楽しいのは、遊び心です。

鋳物の廃材を利用したニチニチソウのこぼれ落ちるような花の流れ①。青田を背景に、思わず座ってみたいくなるような花のベンチ②。コキアで描いた小矢部市のマーク③。花で描いた名画④。

是非、あなたならではのアイデアで、遊び心いっぱいの花づくりに挑戦してみてください。花づくりが何倍も楽しくなりますよ。



①東般若花と緑の推進協議会（砺波市 平成24年度）

②五ヶみちグループ（砺波市 平成24年度）



③メルヘン花工房（小矢部市 平成25年度）



④寺崎啓乃（富山市 平成24年度）

図3：遊び心の花づくり

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン⑬

職藝学院

ルドベキア・フルギダ ‘ゴールドストラム’

教授 渡邊美保子

ルドベキア・フルギダは、北アメリカ原産のキク科の宿根草です。ここ数年、園芸店では、たくさんのルドベキアの園芸品種が流通してきました。花弁が大きいもの、細いもの、草丈が2mになるものや、膝上ぐらいのものまでと様々です。今回ご紹介する品種のゴールドストラムは、ルドベキアの中でも花びらが細く、全体的に細身のしなやかな立ち姿が印象的です(写真1)。



写真1：ルドベキアの品種ゴールドストラム（黄色）とエキナセア（赤紫）

7月の中旬に一番花が咲き始めて、9月頃まで、ちらほらと黄金色の花が咲き続けます。宿根草の中でも開花期間がとて長い品種です。なぜなら、一本の茎から互い違いに枝分かれした茎が伸び、それぞれの茎の先で、また茎が分かれ蕾を一つずつ付け順番に咲き進んでゆくからです。一つの花は1週間ほど咲き続け、咲き終わる前に次の花が開きますので、いつ見てもくたびれた感じがしません。草丈はおよそ100cmになりますので、花壇の後ろの方に植栽すると良いでしょう。

ゴールドストラムの最大の特徴は、黄金色に輝く細くて長い花びらの美しさです(写真2)。朝日



写真2：開花して間もないルドベキアの品種ゴールドストラム。7月中旬。

を浴びた花びらと、夕日に染まる花びらの色を、ぜひ見比べてみてください。朝は、すっきりとしたレモン色、夕暮れ時には赤みを帯びた金色に見えるのが不思議です。お天道様が沈む間際の花の移ろいを眺めていると、とても元気になります。

もうひとつの特徴は、蕾の姿です。まるで両手の指を交互に組み合わせた中に、とても大切なものを隠しているように見えます。組んだ指を一本一本順番に広げてゆくように花びらが開きます。一日ごとにゆっくりと開くので開花の瞬間に立ち会うこともできます。花びらが開くと、マーブルチョコレートのようなものが隠れていたことがわかります。これは、頭状花です。よく見ると黄色い小さな星のようなものが、ぐるりと一周して光っています。花の中心部は、一週間後には黒い毛糸玉のように丸く膨らんでいきます。花びらがとろけるように落ちた後には、この毛糸玉の先がだんだん尖ってきて空中に浮かんでいるように見えます。この姿も面白いのでそのまま楽しめますが、そうは思えないという方は、切ってしまうても大丈夫です。

ゴールドストラムは、日当たりを好み、猛暑にも耐えてくれます。雨を嫌がることもなく適度な湿り気のある土でも大丈夫なようです。病害虫にも強く、全く手間いらずの宿根草です。小さい花壇では、一株をのびのびと育てたほうが花の一つ一つが込み合うことがなく、ゴールドストラム本来の花の美しさを楽しめます。

組み合わせは、ゴールドストラムの後ろに宿根アスターや、紫色のバーベナ・ボナリエンシス(写真3)、また、株の周りをピンクの宿根フロックスや、赤紫色のエキナセアなどで囲んであげると暴れにくくなります。



写真3：ルドベキアの品種ゴールドストラム(右)とバーベナ・ボナリエンシス(左)

平成26年度富山県花のまちづくりコンクール

学校花壇部門 最優秀賞 富山市立四方小学校



【審査講評】

栽培管理、デザイン、活動・取組の全てにおいて審査員の高い評価を受け、2年連続で四方小学校が受賞しました。

入口の前庭花壇では、花壇づくりを指導されたグリーンキーパー氏の似顔絵が印象に残りました。地域の人たちと学校との強い絆、協同による花作りがうかがえます。

花のアーチをくぐると、全校生徒で取り組んだ全校花壇「215人のゆめをのせてスタートだ! すすめ 四方っ子号」と、5年生が総合的な学習の時間で取り組んだフラワーロード花壇「心をついで友達だん」の2つの花壇がありました。それぞれ子供たちがデザインし、名称を考え、苗を植え付けて育ててきたもので、色彩豊かで植物の草姿を活かして立体的に配置され、所々にある手作りのオブジェがアクセントをつけていて、見ていて楽しいものでした。子供たちのおもてなしからは、活動に自信と誇りを持っていることがうかがえました。

活動費が2番目に少なかったのに対し、花苗数は他校の2~5倍と群を抜いて多く、その多くが自家生産であるということも特筆されます。花の終わった後の種採り、多年草の越冬、プラグ苗の生産による花苗の準備など、一年を通しての取り組みが結果となって表れていました。

(審査委員長 中田 政司)

幼稚園・保育所花壇部門 最優秀賞 氷見市 明和保育園



【審査講評】

緑豊かな里山に囲まれた環境のなかにおいて、「花育て、心育て」をモットーに子どもたちが自由に花とふれあい、夢いっぱい空間が広がるような花壇造りがなされておりました。特に、地域にある竹でトンネルをつくり、フウセンカズラやルコウソウなどの蔓性植物を這わせ、その中に昔の田植えで使われていた「ころがし」を利用して開業間近な新幹線の模型を作り、自分で描いた顔を乗せるなど、子供たちが毎日見たくするような、夢のある工夫には素晴らしいものがあったと思います。

また、鉢やコンテナを上手に配置して奥行感や立体感をもたせるなど、必ずしも広くない花壇を見応えのあるものにしていただき、地域の人からのアドバイスで、花の出来栄も素晴らしく、地域とのつながりも強く感じられる花壇であったことなどの点で、総合的に高い評価が与えられました。

(審査委員長 名畑 清信)

一般花壇部門 最優秀賞 射水市 黒河地域振興会



【審査講評】

この花壇は、技術的な完成度はもちろんのこと、その取り組みに対する地域の皆さんのまとまりと努力の成果が結果として見事に表れていました。計画の作成から苗の植え付け、灌水、除草などの管理作業全般にみんなで素晴らしい花壇を造り上げるのだという意気込みが感じられます。

花壇の造りとしては、花壇を横断するように白い玉石の通路が設置されており、そこを歩くと花を楽しむと同時にピンチなどの管理通路としての役割も果たしています。また、特筆すべきはタマリユウをうまくあしらって、花の少ない時期に緑を愛でると共に灌水時や雨で表土が流れ出ないように工夫されています。今後、花壇づくりに参考にさせていただきたいものです。

植栽の面では、背の高いコキアやカンナ、オオケタデなどがポイントとなっており、背の低いさまざまな一年草が花壇を鮮やかに、またその中でもイボメアやコリウスが他の花を引き立てています。その他、宿根草やハーブ類を上手に活用して多彩な花壇となっています。少し残念なのは、サルビアやベゴニアなど一部に生育不良(各地で同様な状況が見られます)な株がありますが、早期に抜き取って土の改良(有機質の多用)の後、他の種類に植え替えてほしいものです。

(審査委員長 西尾 正)

花の道部門 最優秀賞 南砺市 桐木花と緑の活動推進協議会



【審査講評】

2000年富山国体を契機に設立された協議会組織による息の長い取り組みの下、会員数は多くありませんがチームワーク良く、まとまりのある綺麗な花の道が出来上がっていました。葉鶏頭やツンベルギア、ダリア、ゼラニウムなど用いて立体感をもたせ、豚糞投入による土づくり等で植物の生育も良く、生き生きとした花色を出していました。

水やりは用水へのポンプの設置と灌水チューブ敷設や雑草抑制、保水性のため定植後に堆肥を敷くなど省力化の工夫がなされてきました。また、沿道の公民館や農家の宅道にも花が植えられ、当部門への理解、協力が感ぜられました。花壇の枠は枕木や山辺の竹の利用で手作り感を醸していました。地域の児童会や高齢者サロンとの連携もよく、総じて高い評価を受けました。更なる継続を期待しています。

(審査委員長 松下 真一郎)



花と緑の事業に携わって

花と緑の銀行南砺支店 上平支所長

西赤尾地区 グリーンキーパー 谷 かず子

現在、上平支所は8名の頭取・グリーンキーパー全員が女性だけで活動しております。少人数でもあり、他の地域のような花と緑への活動はほとんどしていませんでした。しかし、4年前に「コンテナガーデンコンテスト」に参加し、「特別賞」をいただいてから、花と緑に力を入れるようになりました。

そして、2年前に、北陸新幹線開業に伴い世界遺産である「菅沼合掌集落」を訪れる観光客に花でいっぱいのおもてなしをしようと「おもてなしフラワー事業」の補助により活動をはじめました。数回の会合や打合せを行いました。地域の方々の意見の食い違いや、世界遺産の合掌集落の景観を損なわない為の花の飾り方等、想像以上に大変でした。現在は少しずつ軌道にのり、まだまだ課題がありますが、花と緑をとおして、地域の方々とメン

バーとの交流が深まり、今では和気あいあいと花を植えたりしています。

また、今年の「コンテナガーデンコンテスト」では前回の作品の反省点を生かしながら、メンバーでいろんなアイディアを出し合った結果、「優秀賞」をいただき、メンバー全員が励みとなり、花と緑の活動が楽しくなりました。

上平支所8人全員花が大好きであり、毎日花に癒されながら、地域にあった花と緑の活動を頑張っていきたいと思っております。



〈情報コーナー〉

北陸新幹線開業を控え、県内各地で「おもてなしフラワー事業」が実施されています！

(実施箇所一覧)

花と緑の銀行では、平成24年度から、新幹線の開業により来県する観光客をおもてなしするため、県内の観光スポットや・交通の要所において、おもてなしフラワー事業を行っています。今後皆さまのお近くの地域でも取組を検討され、県民全体で来県者をおもてなしする機運を高めていきたいと思います。

支店名	地域名	取組内容	写真
黒部	宇奈月温泉	かつて桃源郷と言われた宇奈月に桃園の復活を願い、桃の木の植樹や温泉街にプランターの設置を行っている。	
高岡	坂下町通り (高岡大仏周辺)	高岡大仏の門前町として趣のある景観作りを行うため、地元大学生との共同開発により、町並みに溶け込むデザインの花ポットを設置している。	
南砺	菅沼 合掌集落	世界遺産に登録されている合掌家屋を、ハンギングバスケットやフラワーポットで飾り、観光客をもてなすとともに、地域住民の環境美化の意識向上を図っている。	
射水	臨港道路北線 (新湊大橋周辺)	新湊大橋や海王丸・内川べりなどに近年増加している観光客をもてなすため、ラベンダー(花言葉:「あなたを待っています」)のプランターを設置している。	
富山	JR八尾駅前	おわらの里の玄関口であるJR八尾駅前に、和風の格子をモチーフにしたフラワーポットを設置し、観光客のおもてなしにつとめている。	

富山県花と緑の祭典2014「第42回花と緑の大会」を開催します。

- 日時 平成26年10月30日(木) 13:30~16:00
- 場所 富山県教育文化会館 ホール 富山市舟橋北町7番1号
- 内容 (1)花と緑の功労者表彰 (2)富山県花と緑のコンクール入賞者表彰
(3)花と緑の講演会 演題 「育てて楽しむ花壇づくり」
講師 恵泉女学園大学非常勤講師
(有)山・高瀬計画室 代表取締役社長 山 浩美氏

同時開催

平成26年度
花と緑のコンクール
入賞作品・写真展示
多数のご参加を
お待ちしております。

表紙写真 : 撮影場所 富山城址公園東濠付近のハンギングバスケット (富山市)

裏表紙写真: 「湿原のブルーベリー【クロマメノキ】9月中旬 富山市有峰にて」…写真提供 長谷川 幹夫氏





「湿原のブルーベリー【クロマメノキ】 9月中旬 富山市有峰にて」



花と緑の銀行だより 193号

発行日 平成26年9月

編集発行 公益財団法人 **花と緑の銀行**

〒939-2713 富山県富山市婦中町上巒田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上巒田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>